



狩猟免許

追加試験お知らせ

問 東北振興局農林部農業企画課  
☎ 0956-41-2033

【試験種目】

わな猟、第1種銃猟（装薬銃および空気銃）

【受験資格】

わな猟：18歳以上  
第1種銃猟：20歳以上

※そのほか要件あり

【試験日時】

令和5年1月25日（水）  
わな猟：1・2次試験  
第1種銃猟：1次試験

令和5年2月14日（火）  
第1種銃猟：2次試験

【会場】 諫早文化会館

【申込み期限】

12月16日（金）

【手数料】

1試験種目当たり5,200円  
（長崎県収入証紙を添付）

※ただし、他種の狩猟免許を所持している場合は3,900円

※一定条件の下で免許取得に係る助成制度を予定しております。詳細は市農

林課 ☎ 内線 223 へお問い合わせください。

障害者無料法律相談

に来ませんか

問 松浦市手をつなぐ育成会  
事務局 岡村  
☎ 0956-75-0669

【日時】

12月22日（木）午後1時～6時

※個別相談は午後4時～

【場所】

生涯学習センター（きらきら21）  
詳細はお問い合わせください。

令和4年度陸上自衛隊高等工科学校生徒採用試験

問 自衛隊長崎地方協力本部 佐世保出張所  
☎ 0956-23-1231

【受験資格】

男子で中卒（見込含） 17歳未満の人

【受付期限】

令和5年1月6日（金）

【1次試験】  
令和5年1月14日（土）～15日（日）  
筆記試験（5教科マークシート）、作文

【2次試験】  
令和5年1月28日（土）～29日（日）  
口述試験（個別面接）  
身体検査

消費生活センターだより

インターネット使用中に突然表示されるニセの警告音・表示に騙されないで!!!

問 消費生活センター ☎ 内線 180

【事例】

パソコンでインターネットを使用していたところ、突然警告音が鳴りだし、止まらなくなった。パニック状態になり、画面に出ていた「対策をする」という表示のあった電話番号に連絡してしまった。電話の相手から指示されたとおりに、コンビニで5万円分のプリペイドカードを購入し、記載されている番号を教えた。その後、遠隔操作により警告音と画面は消えたが、不審である。（70歳代 男性）

【一言アドバイス】

突然現れる警告表示は、本当の危険やエラーなどを知らせるものだけとは限らず、消費者の不安をおとりソフトの購入手続きに誘導する「広告」の可能性や初めから詐欺目的のものがあります。警告画面が表示されてもうのみにせず、慌てて連絡や契約をしないようにしましょう。よく分からない業者に遠隔操作を許可してしまうと、知らない間に定期購入にされたり、個人情報などを抜き取られ悪用される可能性があります。

おかしいなと思ったときは、消費生活センターにご相談ください。  
消費生活センターでは、市民相談も受け付けております。

広告

※イベント・試験等は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延期または中止する場合があります

英会話教室  
受講生募集

●松浦市国際親善協会事務局  
(生涯学習課内)  
☎0956・72・1319

【期間】

令和5年1月10日(火)～  
3月14日(火) 10回程度

【日時】

火曜日  
初級クラス

：午後6時30分～7時15分

中級クラス

：午後7時30分～8時15分

【対象】

市内在住・在勤の18歳以上の  
の人(高校生を除く)

【場所】

松浦市生涯学習センター  
(きらきら21) 研修室1・2

【講師】

マーク・ハNSTAYN先生

【受講料】

(一般) 3,000円

(協会会員) 2,000円

【申込受付期間】

12月12日(月)～16日(金)  
午前9時～午後5時

※定員に達し次第終了。

【申込方法】

問合せ先にお電話ください。



## 松浦市国際親善協会 in 松浦水軍まつり

### オーストラリアで愛される「ソーセージ・シズル」を販売しました



1\_当日の販売店舗と販売スタッフの様子。後列左から3番目がマグワイヤさん。

2\_オーストラリアで愛されているソーセージ・シズル。2日間で400個を販売し、お客さんからは「食べ応えのあるソーセージだった」と大好評でした。



10月29日(土)・30日(日)に開催された第20回松浦水軍まつりに、松浦市国際親善協会がPR活動を目的として参加し「ソーセージ・シズル」を販売しました。

ソーセージ・シズルは姉妹都市マッカイ市があるオーストラリアで愛されており、しっかり焼いたソーセージと玉ねぎを薄切り食パンにはさみ、トマトケチャップで味付けをしたもので、「シズル」(ジュー・ジューと音を出して焼ける様子)という名前のとおり香ばしい食材の味がくせになる一品です。

令和元年以来3年ぶりの出店でしたが、多くの方々がオーストラリアの食文化を体験できるきっかけとなり、出店スタッフとして携わったオーストラリア出身のパトリック・マグワイヤさんからは「毎週のようにソーセージ・シズルの風景を目にする母国のことを思い出し、懐かしい気持ちになった。松浦の皆さんがソーセージ・シズルを楽しみ、オーストラリアについて会話をしている姿をみることで嬉しかった」との感想を聞くことができました。

## 広告